



2026年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年7月14日

上場会社名 株式会社カワサキ 上場取引所 東
コード番号 3045 URL <https://www.kawasaki-corp.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 川崎 久典
問合せ先責任者（役職名） 管理部部長（氏名） 池田 喜章 TEL 072-439-8011
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年8月期第3四半期の業績（2025年9月1日～2026年5月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年8月期第3四半期	1,752	1.1	408	△0.1	408	0.0	266	0.2
2025年8月期第3四半期	1,732	5.1	409	33.2	408	31.4	265	20.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期第3四半期	124.84	—
2025年8月期第3四半期	123.67	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年8月期第3四半期	7,896	5,915	74.9
2025年8月期	8,058	5,755	71.4

（参考）自己資本 2026年8月期第3四半期 5,915百万円 2025年8月期 5,755百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年8月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2026年8月期		25.00			
2026年8月期（予想）				25.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年8月期の業績予想（2025年9月1日～2026年8月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	2,233	△2.5	432	△16.1	431	△16.1	279	△17.5	130.02

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年8月期3Q	2,901,000株	2025年8月期	2,901,000株
2026年8月期3Q	768,260株	2025年8月期	768,260株
2026年8月期3Q	2,132,740株	2025年8月期3Q	2,148,740株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に緩やかな回復基調で推移したものの、物価上昇の長期化による節約志向の高まりや人手不足の深刻化に加え、米国の通商政策の動向や中国経済の減速懸念など、世界経済の不確実性も依然として高く、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社の服飾事業におきましては、売上高は前年同期をわずかに上回ったものの、営業利益は前年同期を下回りました。賃貸・倉庫事業におきましては、引き続き安定した稼働により堅調に推移いたしました。ホテル事業におきましては、宿泊需要の回復等により増収となりましたが、営業損失は前年同期に比べ拡大いたしました。その結果、当第3四半期累計期間の業績は売上高1,752,305千円（前年同期比1.1%の増加）、営業利益408,738千円（前年同期比0.1%の減少）、経常利益408,358千円（前年同期比0.02%の増加）、四半期純利益266,259千円（前年同期比0.2%の増加）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(服飾事業)

当事業部門におきましては、営業活動の強化に努めた結果、売上高は前年同期をわずかに上回りました。一方で、最低賃金の引上げに伴う人件費の増加や原材料価格の上昇に対し販売価格の見直しを進めたものの、コスト増加分を十分に吸収するには至らず、利益は前年同期を下回りました。また、自社ECサイトにつきましては、株主優待制度の効果もあり会員登録者数が増加し、自社ECサイトの販売高が前年同期比244.7%となるなど大きく伸ばいたしました。その結果、売上高は427,942千円（前年同期比0.5%の増加）、営業利益は4,920千円（前年同期比27.2%の減少）となりました。

(賃貸・倉庫事業)

当事業部門におきましては、退去予定であったテナントの継続利用に加え、照明のLED化など設備の付加価値向上に取り組んだ結果、収益の向上に寄与いたしました。また、新たに賃借契約した大阪府岸和田市木材町ヤード用地につきましては、現在、用地整備を進めており、借地料等の費用が先行して発生しておりますが、今期中の稼働開始による収益への寄与を見込んでおります。その結果、売上高は1,048,549千円（前年同期比0.6%の増加）、営業利益は442,404千円（前年同期比1.8%の増加）となりました。

(ホテル事業)

当事業部門におきましては、宿泊部門では、開催期間が10月までであった大阪・関西万博の来訪需要等を背景に宿泊利用が堅調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。一方で料飲部門では、最低賃金の引上げに伴う人件費の増加や食材価格の上昇による売上原価の増加に対し、価格改定を実施したものの、顧客離れを抑制するため価格転嫁を限定的に行ったことから、利益が圧迫され、売上高は前年同期を上回ったものの、営業損失は前年同期より拡大いたしました。その結果、売上高は275,813千円（前年同期比4.3%の増加）となったものの、営業損失は38,586千円（前年同期は32,209千円の営業損失）となりました。今後も収益性の改善に向け、コスト管理の徹底と業務効率化に取り組んでまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は、前事業年度末に比べて52,330千円(4.6%)増加し、1,188,563千円となりました。この主な要因は、現金及び預金が10,870千円、商品及び製品が77,315千円増加し、その他が52,927千円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は、前事業年度末に比べて214,009千円(3.1%)減少し、6,708,326千円となりました。この主な要因は、建物及び構築物(純額)が189,677千円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は、前事業年度末に比べて116,436千円(15.8%)減少し、622,727千円となりました。この主な要因は、未払法人税等が65,913千円、その他が42,944千円減少し、買掛金が4,240千円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は、前事業年度末に比べて204,864千円(13.1%)減少し、1,359,029千円となりました。この主な要因は、長期借入金が191,280千円減少し、資産除去債務が3,199千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末に比べて159,622千円(2.8%)増加し、5,915,132千円となりました。この主な要因は、四半期純利益を266,259千円計上したものの、配当による減少106,637千円があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2025年10月14日に公表いたしました数値から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年8月31日)	当第3四半期会計期間 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	659,350	670,220
受取手形、売掛金及び契約資産	52,863	69,322
商品及び製品	276,037	353,353
原材料及び貯蔵品	32,105	32,779
その他	116,074	63,147
貸倒引当金	△199	△260
流動資産合計	1,136,232	1,188,563
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,693,192	3,503,514
機械装置及び運搬具（純額）	163,627	155,508
土地	2,571,366	2,571,366
その他（純額）	37,277	26,881
有形固定資産合計	6,465,463	6,257,270
無形固定資産	14,885	11,672
投資その他の資産	441,987	439,383
固定資産合計	6,922,335	6,708,326
資産合計	8,058,568	7,896,890

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年8月31日)	当第3四半期会計期間 (2026年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,503	14,744
1年内返済予定の長期借入金	284,580	271,920
未払法人税等	126,161	60,248
賞与引当金	1,277	2,118
その他	316,641	273,696
流動負債合計	739,163	622,727
固定負債		
長期借入金	740,720	549,440
役員退職慰労引当金	12,716	14,966
資産除去債務	450,662	453,862
その他	359,795	340,760
固定負債合計	1,563,894	1,359,029
負債合計	2,303,058	1,981,757
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,300	4,300
資本剰余金	1,025,937	1,025,937
利益剰余金	5,224,009	5,383,632
自己株式	△498,736	△498,736
株主資本合計	5,755,510	5,915,132
純資産合計	5,755,510	5,915,132
負債純資産合計	8,058,568	7,896,890

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
売上高	1,732,487	1,752,305
売上原価	922,525	930,946
売上総利益	809,961	821,358
販売費及び一般管理費	400,668	412,620
営業利益	409,293	408,738
営業外収益		
受取利息	54	279
受取手数料	1,039	452
受取家賃	900	900
為替差益	62	167
その他	1,433	2,280
営業外収益合計	3,489	4,080
営業外費用		
支払利息	4,504	4,455
その他	10	5
営業外費用合計	4,514	4,460
経常利益	408,269	408,358
税引前四半期純利益	408,269	408,358
法人税、住民税及び事業税	152,855	161,133
法人税等調整額	△10,323	△19,034
法人税等合計	142,532	142,099
四半期純利益	265,737	266,259

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			四半期損益 計算書計上額
	服飾事業	賃貸・倉庫 事業	ホテル事業	
売上高				
外部顧客への売上高	425,867	1,042,247	264,372	1,732,487
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	425,867	1,042,247	264,372	1,732,487
セグメント利益又は 損失(△)	6,755	434,747	△32,209	409,293

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期累計期間(自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			四半期損益 計算書計上額
	服飾事業	賃貸・倉庫 事業	ホテル事業	
売上高				
外部顧客への売上高	427,942	1,048,549	275,813	1,752,305
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	427,942	1,048,549	275,813	1,752,305
セグメント利益又は 損失(△)	4,920	442,404	△38,586	408,738

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
減価償却費	226,978千円	228,291千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。